



ミスナ「紅法師」

奈良県五條市 竹田 吉宏さん

私は農大卒業後、別方面の仕事を経てから、農業を手伝うようになりました。米や野菜を作り、直売所出荷に向く品種の研究をしています。新しい「紅法師」にも興味をひかれ、10月初めごろ播種。すぐに発芽し、生育も良好。消毒は一切しなかったのですが、多少害虫はつきましたが、あとは苦労することはありませんでした。

20cmを超えたところから順次収穫し、サラダ用として出荷を始めました。ただ、調製の際に気づいたのですが、化成肥料を効かせた所は色のりがあまりよくない。逆にじっくり生育させた所は、ワインレッドのような華やかな色が出ています。化成で生育を促進すると、寒さにあたって発色するまでに、大きくなってしまいうようです。大株にすると色は出ますが、サラダ用にはできません。有機主体の栽培を守り、じっくり育てて細めに色よく作るには、もう少し研究が必要だと感じました。

今回は露地で作りましたが、害虫防除を考えるとハウス向きかなとも思います。虫がつく前に収穫してしまい、ほかの品種やレタスなどと混ぜ、ベビーリーフとして出荷するのが一番いい。地元の人にはまだなじみがありませんが、大阪など都市圏からのお客さんが多いので、需要は出ると思います。これからの栽培方法や売り方など、工夫を重ね、がんばっていくつもりです。



↑元肥は牛ふん、鶏ふん、かき殻石灰、化成肥料など。有機主体の施肥が鮮やかな色を生む。

ダイコン「夏の翼」

岡山県吉備中央町 松田 政則さん
恵美子さん



←元肥はナタネ油かす、米ぬか、化成肥料。堆肥も定期的に施しており、野菜は「えぐみがなく甘い」と好評。



←太さ、長さともよくそろい、見た目も申し分なし。洗浄すると白さが際立つ。

私たちは果樹と多種類の野菜を栽培していて、野菜は主に道の駅へ出荷しています。いろんな品種を試すのが大好きで、秋ダイコンは「YRくらま」や「耐病総太り」を作っていますが、「夏の翼」にも興味をひかれました。

播種は9月9日に点まきで行いました。発芽率は良好で、その後の生育も問題なし。薬剤防除はしませんでした。病害虫の被害はなく、生理障害も見られず。天候にも恵まれ、よく育ってくれました。

11月初めから収穫開始。又根や曲がり根の心配がなく、今までになくそろいのよい品種です。しかも、洗うと肌が白くきれい。見ばえがよいから道の駅でも好評です。そして、一番印象に残ったのは味。おでんにするとやわらかくてとろけるようだし、切り干しダイコンにも合いそうです。味のよさでお気に入りの「YRくらま」と、遜色ないおいしさです。有機質を多く施しているの、さらに味がよくなっている気がします。

ただ、品種特性を把握せず、3品種とも同時期に播種してしまったのはミスでした。「夏の翼」が8月下旬からまけることを知っていれば、直売所で品薄の10月から出荷でき、次に「YRくらま」、最後にトウ立ちの遅い「耐病総太り」と、順に出せたのにと感じています。

今回は、ほかにキャベツ「コーラス」も栽培しました。7月25日に播種したら100%の発芽率。8月23日の定植後はみるみる大きくなり、10月20日過ぎには収穫できました。玉はころっとしてやわらかでジューシー。千切りにすると、本来の甘みだけでおいしく食べられて、売れ行きも上々でした。

変わった品種を作るのは勇気がいりますが、一方で楽しくもあります。私たちがいろいろ作るので、今から何をまけばいいか相談に来られる方もちらほら(笑)。これからも変わらず挑戦していけたらと思っています。

試作モニター大募集



1「京くれない」ニンジン

「ファイトリッチ」シリーズの秋の代表品種として昨年シリーズを牽引。注目を集める。人気の秘密は、カロテンだけでなくリコピンを含むこと。しかもおいしく、金時ニンジンほど長くないため一石二鳥の特性をもつ。

2「オレンジ」ニンジン

「ファイトリッチ」ニンジンの第2弾。夏まきの冬どりではこちらはカロテンを従来西洋ニンジンより多く含んだ新品种。もちろん色みや味も文句なし。直売所に、菜園に、レストランに大活躍間違いなし。

3「オレンジクイン」ハクサイ

異色の「ファイトリッチ」オレンジハクサイ。発売は1990年と意外に古く、発売当時は芯葉のオレンジ部にカロテンが豊富なことしか判定できなかった。近年の研究でカロテンだけでなく、体内に吸収のよいシスリコピンが判明。晴れて「ファイトリッチ」シリーズに加わった遅咲きの苦労人。

4「ふゆわらべ」根深ネギ

まったく新しいコンセプトで野菜茶業研究所が育成した秋冬どりネギをタキイで販売。従来の根深ネギと比べ栽培期間が2カ月短く中間・暖地では初夏から栽培可能。形状も短く、買い物かごに入るサイズに仕上がる。軟白部だけでなく葉ネギ部分も食べられる、モダンなスマート白ネギ。

5「新コーネル619号」セルリー

一般種の従来品種「コーネル619号」をリニューアルしそろい性が向上。繊維が少なく香りマイルド。日本人好みのセルリーの名品種をこの機会に栽培されてはいかが？ セルリー嫌いが好きに変わるかも。

自宅で食べる、ご近所さんや、親戚、お子さん、お孫さんが食べられての感想でもOK。もちろん経済出荷をされている方、直売所出荷を始めたい方もプロの目線でどしどしご応募ください。

※お預かりした個人情報は、編集に付随する目的以外で使用いたしません。

※当選されたモニター様へは、7月上旬ごろに試作タネを発送させていただきます(当選発表は当選者様への発送をもって代えさせていただきます。個別に当否の連絡はいたしませんのでご了承ください)。

5種類の中から、ご試作希望のものを1つ選んでご応募ください。厳選のうえ、数名様に各小袋相当の試作をお願いいたします(苗での提供はできません)。当選された皆さまには取材させていただく場合もございますので、ご了承のうえ、ご応募ください。

■応募要項

ハガキに「試作タネ希望」の応募券(この頁右下)を貼付のうえ、1~5から試作ご希望の番号、連絡先(氏名・郵便番号・住所・電話番号)、現在の栽培状況(栽培品目、出

荷先、出荷時期)、本誌入手先(種苗店名等)を明記し、試作モニター係宛までご応募ください。(応募先は下記)

■応募締切

2015年6月30日到着まで

■応募先

〒600-8686京都市下京区梅小路通猪熊東入
タキイ種苗株式会社 広報出版部
試作モニター係 宛

試作タネ希望
2015年
6月